

今後の策定委員会実施予定について

(1) 今後の策定委員会実施予定

小山市総合都市交通体系調査の2年目となる来年度は、下図のとおり、現況課題整理、将来都市交通体系の方向性検討、交通需要予測・評価、総合都市交通計画の策定を予定している。

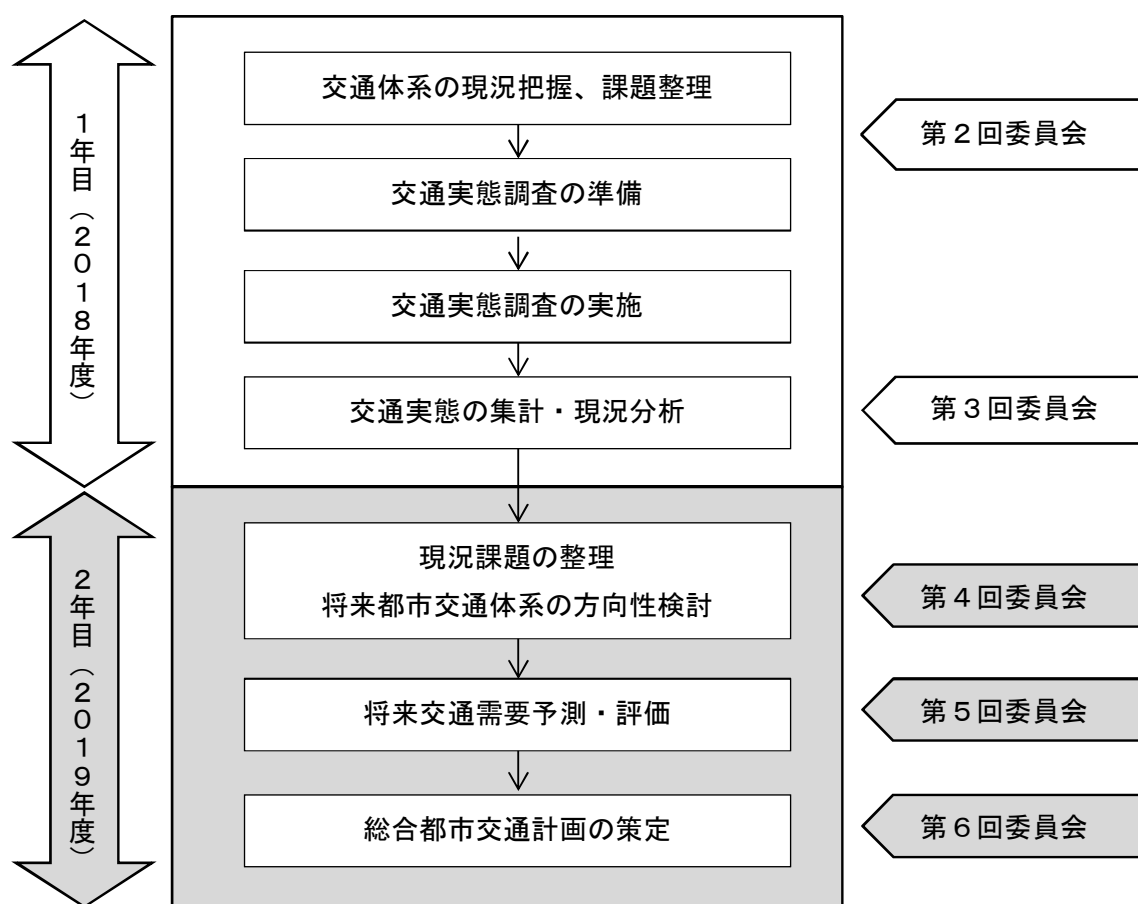


図 調査の全体構成

(2) 計画の方向性

・調査の結果概要

【人口構成】

- 高齢者人口割合が 13.7%から 26.0%に増加
- 特に桑・絹地域、豊田・穂積・中・寒川・生井地区、大谷南地区において、高齢者人口割合が 30%を超えている

【1日の人の動き】

- 高齢者の外出率が増加しており、特に 75 歳以上の外出率が増加している（35.4%→47.9%）一方で、15-24 歳の若者の外出率が減少傾向（90.6%→82.4%）
- 私用目的での移動割合が増加（21.2%→28.9%）している一方で、業務目的での移動割合が減少（9.7%→4.9%）

【交通手段から見る人の動き】

- 自動車交通分担率（60.4%→69.0%）が増加しており、75 歳以上において約 2 倍上昇している（31.7%→69.5%）一方、15-24 歳の若者の自動車利用割合は減少傾向（40.0%→32.9%）
- 自動車分担率を地域別にみると、桑・絹地域（76.0%）、豊田・穂積・中・寒川・生井地区（79.2%）、大谷南地区（79.8%）において高い

【地域から見るの人の動き】

- 小山駅周辺地区一市外間の移動が増加している
- 駅東地区～大谷北地区間での移動が最も多く、次いで小山駅西地区～駅南地区間での移動が多い

- ・今後どのような視点で、総合都市交通計画を見直すべきか